



2024年

国際交流イベント「ジャパンウィーク®」 を活用した地域振興策のご提案

日本とアルザスの
交流160周年



主催：公益財団法人 国際親善協会

2024年4月現在



International Friendship Foundation
公益財団法人 国際親善協会

〒112-0003 東京都文京区春日2丁目10番15号 志知ビル4階
Shichi Bldg.4F,2-10-15 Kasuga Bunkyo-ku Tokyo JAPAN 112-0003
http://www.iffjapan.or.jp e-mail: info@iffjapan.or.jp
TEL (03) 5802 - 0351 FAX (03) 5802 - 0353

(1) 名称	公益財団法人 国際親善協会 [英文名称: International Friendship Foundation 略称: IFF]
(2) 主務官庁	内閣府
(3) 目的	国籍、人種、宗教等の区別なく国際親善を図り、汎く人類の福祉と世界平和に貢献し、我が国と世界各国の相互理解の増進及び友好関係の円満な発展を助長するを以てその目的とする。
(4) 事業	①世界各地において、日本の伝統的な文化、芸能、芸術、スポーツ等の紹介を通じ、開催地域との友好親善・相互理解を図る「ジャパンウィーク®」の開催 ②国際親善を図るための事業で、前項に掲げる以外の文化、芸能、芸術、学術、スポーツ等に関する交流及び紹介 ③国際親善・国際交流に資するシンポジウム、セミナー、会議等の開催及び出版物の刊行 ④国際親善・国際交流に資する国内外の情報収集及びデータベースの作成とその提供 ⑤その他本協会の目的を達成するために必要な事業
(5) 収支	現在、事業費・運営費については、民間企業からの賛助会費及び寄付金によって賄われています。

1. ジャパンウィーク®事業

日本の生活文化、芸能、美術、音楽、ファッション、スポーツ、経済等の紹介を通じて国際交流を図り、開催国との友好親善・相互理解を推進する。

(ジャパンウィーク®事業についての詳細は、8ページ以降にて紹介。)

国際文化交流の基盤作り事業及び開催準備

(a) 人物交流の実施

国政及び地方議会の議員、中央省庁及び地方自治体の職員、ならびに地域の指導者や関係民間団体・組織等の代表と各国の関係主要人物との交流を活発化し、芸術、文化、スポーツ、経済等の分野における交流活動に対する認識を深め、芸術、文化、スポーツ、経済等の振興を図る。

(b) 姉妹都市交流・提携の推進

各国、諸都市、諸地域との交流の基盤となる姉妹都市交流・提携を推進する。

(c) 地域情報の収集と提供

日本各地域の芸術、文化、スポーツ等に関する活動情報を取りまとめ、海外諸国に提供する。また、ジャパンウィーク等を通じて集積した海外諸地域の芸術、文化、スポーツ等に関する活動情報を国内の関係諸機関・団体等に提供する。

(d) 国際交流活動に関する情報の収集と提供

日本の各地域・各団体の国際交流の状況と実態を取りまとめ、国内外の関係諸機関・団体等に情報を提供する。

2. フレンドシップ・フォース活動の支援事業

ザ・フレンドシップ・フォース (THE FRIENDSHIP FORCE/本部: アメリカ合衆国ジョージア州アトランタ市) は、1977年米国カーター大統領の提唱を受けて、「国の違う市民同士が家庭滞在という形で生活を共にし、考え方や文化の相違点や類似点を発見し、相互理解を深めることにより世界平和を推進すること」を目的として設立されたボランティア・ベースの非営利団体である。フレンドシップフォースは、ホームステイ交流や個人の友情を通じて国際理解、教育文化、市民外交促進に特化している。エキサイティングな個人の出会いを通して、初対面の人同士が友人となり異文化を体験し共通点を見出す。この国際家庭滞在交流活動 (フレンドシップ・フォース活動) を幅広く支援するために、国内外の関係機関・団体との連絡にあたる。

その他、国際交流を促進するために必要な事業

(a) シンポジウム及びセミナー・会議の開催

国政及び地方議会の議員、中央省庁及び地方自治体の職員、ならびに地域の指導者や関係民間団体・組織等の代表による、日本との各国と国際交流の将来的なあり方、今後の取り組み方に関する国内外におけるシンポジウム及びセミナー・会議等の開催。

(b) 姉妹校及び友好団体・クラブ間等の交流・提携の推進

各種教育機関及び民間活動組織間の交流を促進し、草の根レベルの国際交流を進展させる。

【2024年 開催概要】

開催期間		2024年11月12日（火）～11月17日（日）6日間	
開催規模	日本側参加予定者 700人 コルマル市側参加予定者 10,000人		後援（予定） アルザス日本研究センター（CEEJA）、アルザス・デスティネーション・ツーリズム、在ストラスブール日本国総領事館、国土交通省、文部科学省、フランス観光開発機構、コルマル市観光局、日本政府観光局（JNTO）、独立行政法人国際交流基金、日本貿易振興機構（JETRO）、一般財団法人自治体国際化協会、一般財団法人地域伝統芸能活用センター、全国知事会、全国市長会、全国町村会、全国都道府県議会議長会、全国市議会議長会、全国町村議会議長会、西日本旅客鉄道株式会社
開催地	フランス共和国・コルマル市		助成（予定） 公益財団法人双日国際交流財団、公益財団法人JKA
主催	公益財団法人 国際親善協会		協賛（予定） 日本航空株式会社、損害保険ジャパン株式会社、株式会社みずほ銀行、株式会社日本旅行、株式会社ミキ・ツーリスト、株式会社ブランドウ・ジャパン
開催国側主催	フランス共和国・コルマル市		目的（予定） 市民レベル、地域レベルでの文化交流を通じて、日本と開催国間の友好親善、相互理解を促進し、更には両国の地域社会づくりに貢献すること。

エリック・シュトルマン

コルマル市長



2024年にジャパンウィークをお迎えできることをコルマル市として、大変誇らしく思っています。今年には日本とアルザスが関係を結んで160周年でもあります。彫刻家バルトルディ（ニューヨークの自由の女神像設計者）の生誕の地でもあるコルマルは2014年より岐阜・高山市と姉妹都市関係をつぶなど、これまでも日本と深い関係を築いてまいりました。当市はいくつもの日本企業の欧州拠点でもあります。欧州日本学研究所も所在し、この研究所は現在マンガ博物館を準備中です。また、市内には大変美しいアルザス建築の館、プフィスタの家がありますが、この家は宮崎駿アニメ「ハウルの動く城」に出てくる家としても有名です。この一週間にわたる盛大なイベントによってコルマル市民は日本の文化の美しさと多様性を発見することでしょう。日本文化とアルザス文化の交流と融合の機会を与えてくださる主催者及び参加者の皆様方に心よりお礼申し上げます。



在ストラスブール
日本国総領事
内田 浩行

日本とアルザスの交流160周年

日本・アルザス交流160周年にあたる2024年に、第49回ジャパンウィークがアルザス地方コルマルで開催されることを大変喜ばしく思います。アルザス地方は、ドイツとの国境に位置し、これまでドイツとフランスとの間を行き来した歴史的にも重要な地方で、小説「最後の授業」の舞台でもあります。日本との関係も深く、コルマル周辺を中心に多くの日本企業が進出しており、日本文化への関心も非常に高いところです。特に、コルマルは、ジブリ映画「ハウルの動く城」のモデルとなった伝統的な街並みや風景が残る可愛らしい街で、毎年多くの日本人が観光に訪れています。アルザス料理、アルザスワイン、ワイン街道の美しい村々もお薦めです。ジャパンウィークの機会に、少しでも多くの日本人の方にお越し頂き、現地の方が普段見ることのできない様々な公演や展示、イベントを通じて、日本とアルザスとの間の文化交流が更に進むことを願っております。皆様のコルマルへのお越しを心よりお待ちしております。



プログラム	11/12 (火)	11/13 (水)	11/14 (木)	11/15 (金)	11/16 (土)	11/17 (日)
オープニングフェスティバル		●				
ウェルカムレセプション		●				
舞台公演	●		●		●	●
展示・実演	●	●	●	●	●	●
茶道	●	●	●	●	●	●
交流プログラム		●	●	●		
観光物産商談会	●					

※コルマル旅行博（SITV）開催期間
11/8（金）～11/11（月・祝）



鶴保 庸介

公益財団法人 国際親善協会会長



新たな国際交流のはじまり

親日家が多いフランスの中でも特に日本と深い縁を持ち、相互交流に積極的な地域でドイツ、スイスと国境を接する北東部・アルザス地方に属するコルマルは2024年日本との交流開始から160周年の節目となります。日本とこれほど深い結びつきを持つフランスの地方は他にありません。ゴッホやモネら多くの芸術家に影響を与えた日本美術ブーム「ジャポニスム」の到来より早く、和柄の図案を当地にもたらしていたこの地で私どもは微力ながら市民レベルの交流を通じて、互いの文化を理解し、両国間の文化交流、友好関係の促進を図るとともに国際交流の意義とその重要性を認識し、新しい時代に向けた国際交流を再開いたします。フランス・コルマルで皆様にお会いできることを楽しみにしております。



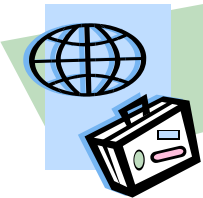
こんなことを考えている地域の皆様におすすめのイベントがあります。



海外のプロモーション
がマンネリ化
してるなあ・・・



欧州からの誘客促進
にいいツールは
なかなか・・・



地域産品を海外に
アピール、海外企業
との提携方法は
ないかなあ・・・

訪日旅行、地域物産品を日本の魅力として欧州に発信します。

ジャパンウィーク®は公益財団法人 国際親善協会が主催するイベントで、開催都市の政府がバックアップしておりますので、皆様のニーズに幅広くお応えできます。是非、地域の魅力発信に貢献でき、さらに満足度の高いイベントとして38年間続いております。

特に今回は**BtoBの商談会は首都パリ**で、そしてBtoCは日本政府観光局（JNTO）も出展（予定）の「**国際旅行博（SITV）**」の開催都市であるコルマル市での展示、サンプリング等、首都でプロモーションする競合他地域との差別化が図れます。

※コルマル旅行博（SITV）開催期間：11/8（金）～11/11（月・祝）

JAPAN WEEK

【ジャパンウィーク®とは】

「ジャパンウィーク®」は、日本の生活文化、芸能、美術、音楽、ファッション、スポーツ、経済等を通じて日本を紹介するとともに、開催地住民も参加し、相互理解・友好親善を図る市民レベルの国際文化交流事業です。

この「ジャパンウィーク®」は、各会場での公演、展示、実演などによって構成されていますが、一方通行の文化紹介にとどまることのないよう、開催地の人々の参加を促し、心と心がふれあう交流を実現できるワークショップ等のプログラムづくりにも力を入れている点にその特徴があります。

更に2023年よりインバウンドとアウトバウンドの相互交流の促進と観光・物産の両輪でのインバウンド誘致を目的に開催国の首都にて観光・物産商談会を単独主催にて初めて開催をしております。

【ジャパンウィークの目指すもの】

1. 開催国との相互理解・友好親善の促進
2. 日本の芸術・文化の振興と幅広い紹介
3. 国民の国際感覚・国際認識の醸成
4. 地域の活性化・国際化の促進
5. 郷土芸能等の文化遺産の保存・継承に貢献
6. 姉妹・友好都市交流の推進



【事業内容に關して】

01 自治体プラン

各地方自治体より、その地域の観光地や郷土の物産などを紹介する商談会を実施。日本酒やお米のほか地域の特産物と共に日本の美しさや伝統文化などを紹介。



日本側参加団体：2023年11月27日 合計17団体 39名
 【観光】自治体、日本の旅館ホテル、観光関連団体等15団体/33名
 【物産】自治体（日本酒のPR）1団体/3名
 【特別参加】独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）/3名



スペイン側参加団体：2023年11月27日 合計31団体 39名
 【観光】アポイントメント商談-15団体/22名
 自治体、旅行会社、ホテル、一般団体、大学など
 【物産】アポイントメント商談-4団体/4名
 フリー商談-12団体/13名
 輸入業者、商社、レストラン、スーパー・土産店、日本食関連企業など

02 舞台公演

日本各地の伝統的な郷土・民俗芸能、邦楽や和太鼓、洋楽の演奏、コーラス、舞踊、演劇、着物ショーなどの舞台公演により日本の地域を紹介。



03 展示、実演、ワークショップ

各地の物産品、伝統工芸品のほか絵画、書道、手工芸、陶芸、衣食住に関する文化、茶道、華道などを紹介する展示、実演、ワークショップによって日本を紹介できます。



04 姉妹・友好都市交流推進

開催国側都市と姉妹・友好関係にある自治体が「ジャパンウィーク®」を交流の機会として活用し、舞台公演や展示・実演・ワークショップにより地域の文化を紹介。



05 人物交流の実施

「ジャパンウィーク®」の開催国及び地域と、日本の参加自治体・団体との相互の継続的な文化交流事業を推進するため、双方の関係者の人物交流を実施。



06 訪問交流プログラム

学校や社会福祉施設、老人ホームを訪問して、交流を図るプログラムを実施。



07 スポーツプログラム

柔道、空手、相撲、剣道、弓道などの日本の伝統的な武道の演武による日本紹介。他にも野球、サッカー等、市民に親しまれているスポーツの親善交流試合の開催。



08 教育プログラム

「ジャパンウィーク®」の機会を利用して現地の学校で日本を紹介。日本をテーマとしたカリキュラムを設け、イベント会場への見学を実施。



写真： 国税庁 横山氏によるプレゼンテーション



日本側参加団体

地域	団体名	地域	団体名
北海道	北海道観光振興機構	関西	びわ湖大津観光協会
北海道	十勝川温泉旅館組合	中国	岡山県旅館ホテル生活衛生同業組合
東北	かみのやま温泉旅館組合	九州	長崎県観光連盟
新潟	村上市観光協会	九州	九州観光機構
関東	草津温泉観光協会	沖縄	沖縄観光コンベンションビューロー
関東	西湖観光協会	沖縄	石垣市観光交流協会
中部	富士宮市	全国	ゴルフツーリズム推進協会
中部	飛騨高山観光コンベンション協会	全国	JETRO マドリッド事務所
中部	下呂温泉観光協会		

写真： アポイントメント商談会の様子①



写真： アポイントメント商談会の様子②



写真： フリー商談会（物産）の様子



写真： 在スペイン日本大使館 北村参事官ご挨拶



写真： 日本旅行協定旅館ホテル連盟 白石会長ご挨拶



写真： カクテルセプションの様子



【ジャパンウィーク®の歴史】

1986年にイタリア・フローレンスで第1回ジャパンウィーク®を開催しました。
2024年で38年目、49回目を迎え、今回は**フランスのコルマル市**にて開催いたします。

回	開催年月日	開催国	開催都市	参加団体数	参加人数	現地見学者数
第1回	1986年11月	イタリア	フローレンス市	43団体	1,200人	80,000人
第2回	1987年10月	オランダ	アムステルダム市 ヌトレヒト州	33団体	750人	70,000人
第3回	1988年11月	ドイツ	ハンブルグ市	39団体	900人	25,000人
第4回	1989年11月	フランス	マルセイユ市	79団体	2,450人	95,000人
第5回	1990年11月	イギリス	グラスゴー市	41団体	1,040人	39,000人
第6回	1991年5月	アメリカ	ユタ州 ソルトレイクシティ市	58団体	1,800人	80,000人
第7回	1991年11月	フランス	ポルドー市	36団体	910人	54,000人
第8回	1992年5月	アメリカ	オレゴン州 ポートランド市	80団体	2,200人	267,000人*
第9回	1992年11月	スペイン	グラナダ市	40団体	1,200人	50,000人
第10回	1993年6月	アメリカ	アリゾナ州 フェニックス市	64団体	2,050人	62,000人
第11回	1993年11月	ベルギー	アントワープ市	43団体	780人	48,000人
第12回	1994年5月	アメリカ	ミネソタ州 ミネアポリス市	60団体	1,500人	90,000人
第13回	1994年11月	フランス	トゥールーズ市	40団体	1,300人	50,000人
第14回	1995年5月	アメリカ	ニューメキシコ州 アルバカーキ市、サンタフェ市	52団体	1,000人	75,000人
第15回	1995年11月	オーストリア	ザルツブルグ市	150団体	3,200人	20,000人
第16回	1996年5月	アメリカ	マサチューセッツ州 ボストン市	40団体	1,000人	10,000人
第17回	1996年11月	イタリア	ヴェニス市	50団体	1,300人	20,000人
第18回	1997年6月	アメリカ	カリフォルニア州 ロングビーチ市	40団体	1,200人	12,500人
第19回	1997年11月	スペイン	セビリア市	50団体	1,200人	14,500人
第20回	1998年5月	カナダ	ブリティッシュコロンビア州 バンクーバー市	60団体	1,000人	11,000人
第21回	1998年11月	ハンガリー	ブダペスト市	45団体	1,000人	10,000人
第22回	1999年5月	カナダ	オンタリオ州 ナイアガラフォールズ市	18団体	600人	32,400人
第23回	1999年11月	フランス	リヨン市	65団体	1,300人	13,000人
第24回	2000年6月	キューバ	ハバナ市	31団体	400人	20,000人

※ローズフェスティバルのスターライトパレードにおける観客を含みます。
(2024年2月現在)

回	開催年月日	開催国	開催都市	参加団体数	参加人数	現地見学者数
第25回	2000年10月	オランダ	ライデン市	57団体	1,100人	10,000人
第26回	2001年11月	イギリス	バーミンガム市	29団体	700人	15,000人
第27回	2002年11月	チェコ	プラハ市	54団体	1,400人	38,000人
第28回	2003年11月	トルコ	イスタンブール市	44団体	2,000人	30,000人
第29回	2004年11月	ポルトガル	リスボン市	44団体	1,500人	30,000人
第30回	2005年11月	イタリア	カンパニア州 ナポリ市	72団体	1,700人	30,000人
第31回	2006年11月	スペイン	カスティーリャ・イ・レオン州 サラマンカ市	45団体	1,500人	41,000人
第32回	2007年10月	ポーランド	ワルシャワ市	40団体	1,200人	32,000人
第33回	2008年11月	フランス	ストラスブール市	41団体	1,100人	12,000人
第34回	2009年11月	オーストリア	グラーツ市	38団体	700人	14,000人
第35回	2010年11月	ポルトガル	ポルト市	40団体	920人	16,000人
第36回	2011年11月	ドイツ	フランクフルト・アム・メイン市	58団体	1,063人	21,000人
第37回	2012年11月	スペイン	バレンシア市	45団体	941人	23,250人
第38回	2013年10月	ポーランド	ポズナン市	52団体	861人	21,600人
第39回	2014年10月	スイス	ベルン市	61団体	1,264人	14,000人
第40回	2015年10月	フィンランド	ヘルシンキ市	68団体	1,000人	64,000人
第41回	2016年10月	ベルギー	ブリュッセル	中止		
第42回	2017年11月	チェコ	プラハ市	78団体	1,350人	40,000人
第43回	2018年10月	イタリア	トリノ市	53団体	1,007人	21,000人
第44回	2019年11月	ギリシャ	アテネ市	87団体	1,314人	24,000人
第45回	2020年11月	スペイン	セビリア市	中止		
第46回	2021年11月	スペイン	セビリア市	中止		
第47回	2022年11月	スペイン	セビリア市 (Pre2023)	18団体	80人	3,500人
第48回	2023年11月	スペイン	セビリア市	52団体	370人	15,000人
第49回	2024年11月	フランス	コルマル市	11月12日(火)~17日(日)開催予定		

現地旅行博と連動した商談会を実施

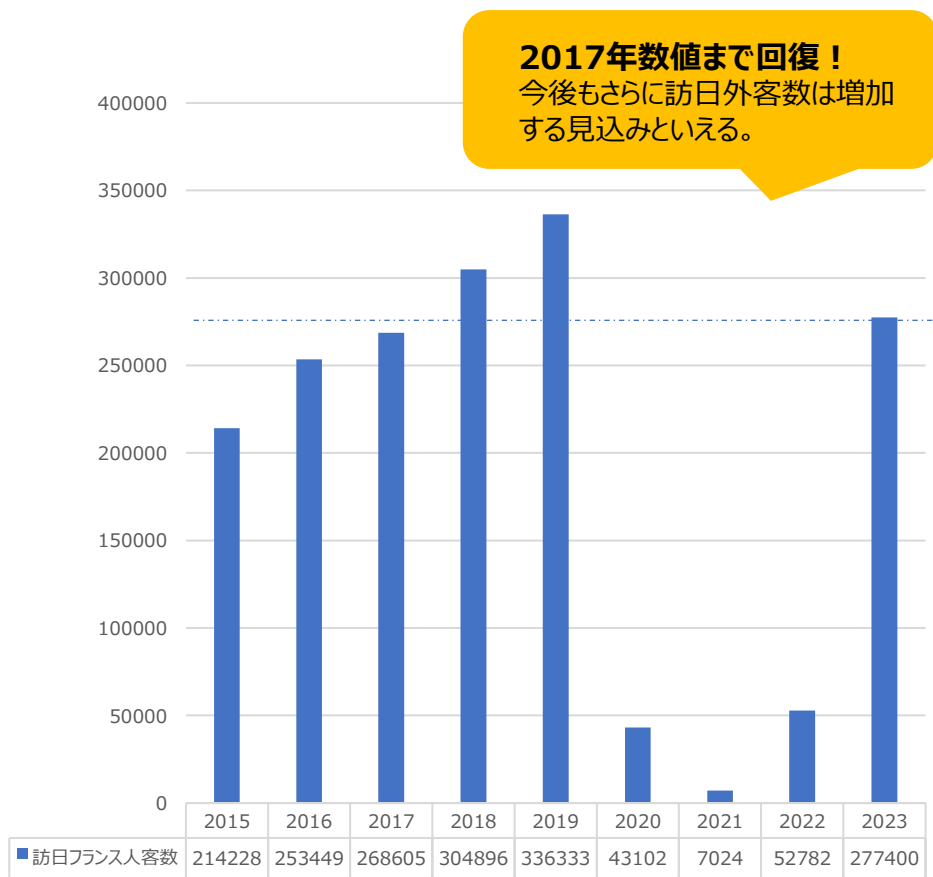
協会主催の商談会初めてを実施

フランスからの訪日需要は2024年は過去最高の想定。滞在日数も多く旅行消費額も高く地域経済にも寄与。

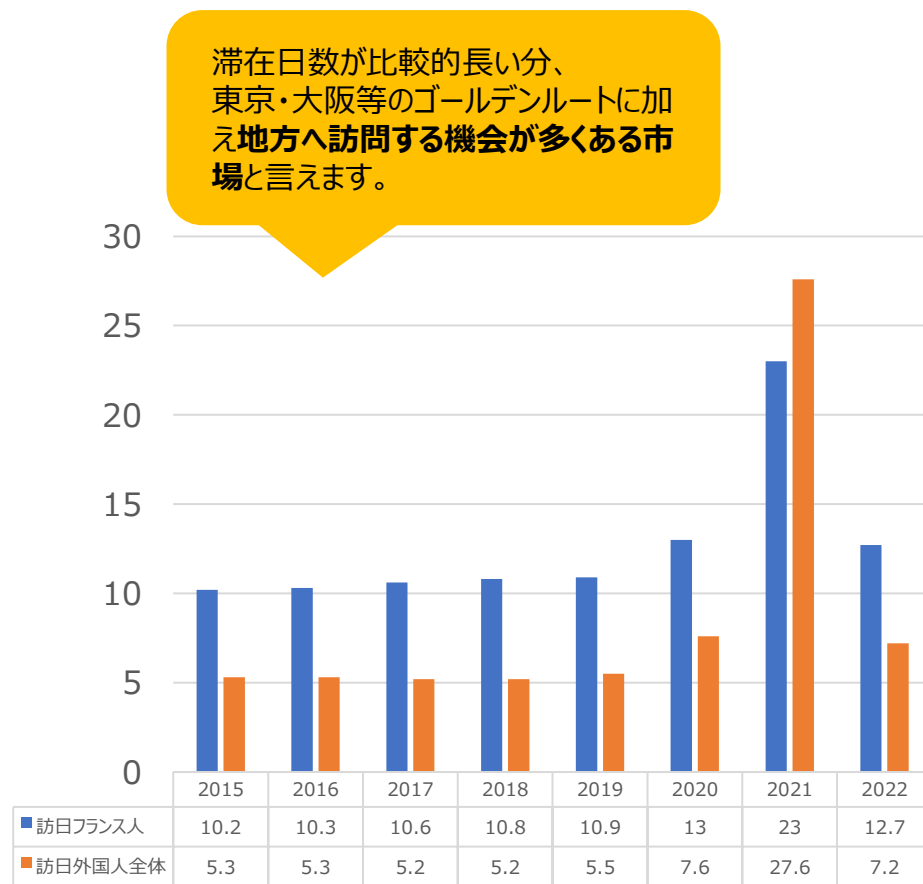
【訪日フランス人客数】

訪日外国人全体と比較すると、訪日フランス人は滞在日数が比較的長い傾向にあります。

【訪日滞在日数】



日本政府観光局（JNTO）
JNTO訪日旅行データハンドブック 2023年より作成



日本政府観光局（JNTO）
JNTO訪日旅行データハンドブック 2023年より作成

フランスへの輸出は日本酒を中心に2022年に過去最高となっており、地域物産品の注目度は高い。

2022年

【農林水産物・食品 抽出額上位15か国】

順位	輸出先国	輸出額（億円）
1	中華人民共和国	2,782
2	香港	2,086
3	アメリカ合衆国	1,939
4	台湾	1,489
5	ベトナム	724
6	大韓民国	667
7	シンガポール	554
8	タイ	506
9	フィリピン	314
10	オーストラリア	292
11	マレーシア	234
12	オランダ	228
13	カナダ	176
14	フランス	133
15	ドイツ	107

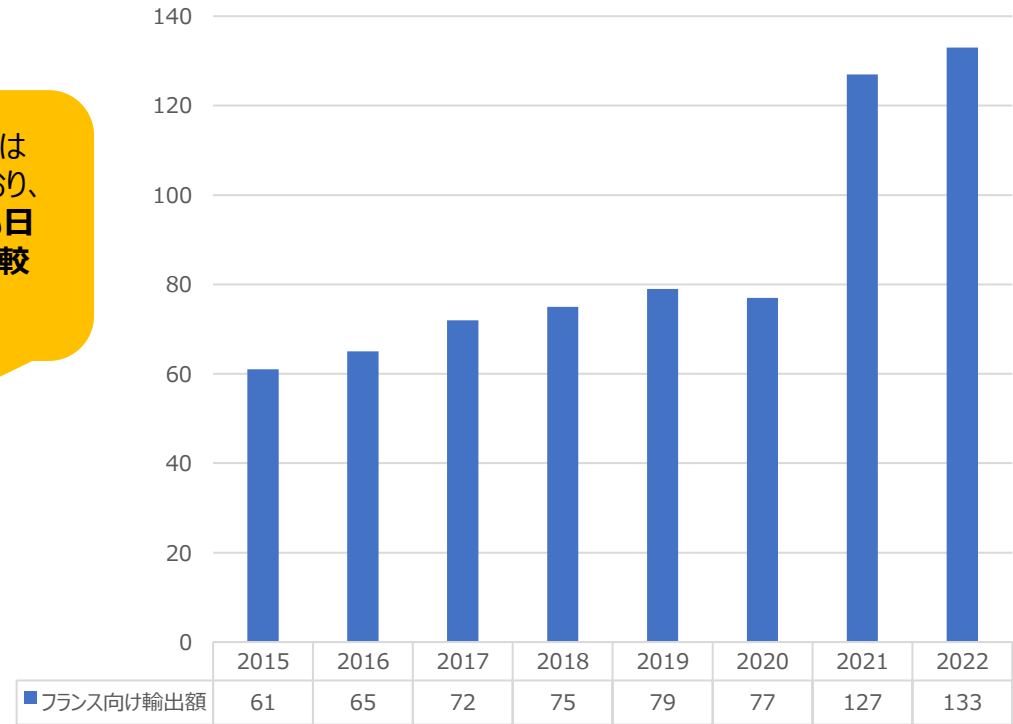
フランスへの輸出額は徐々に伸びてきており、ヨーロッパの中でも日本からの輸出が比較的多い国です。

農林水産省 輸出・国際局 輸出企画課
2022年農林水産物・食品の輸出実績（国・地域別）より

133億円
内訳

農産物：122億円（91.7%）
林産物：2億円（1.9%）
水産物：9億円（6.4%）

【フランス向け輸出額の推移】



【フランス向け 輸出額上位品目】

1位：アルコール飲料（6,185百万円）

2位：ペプトン等（557百万円）

4位：ソース混合調味料（445百万円）

6位：牛肉（361百万円）

8位：醤油（356百万円）

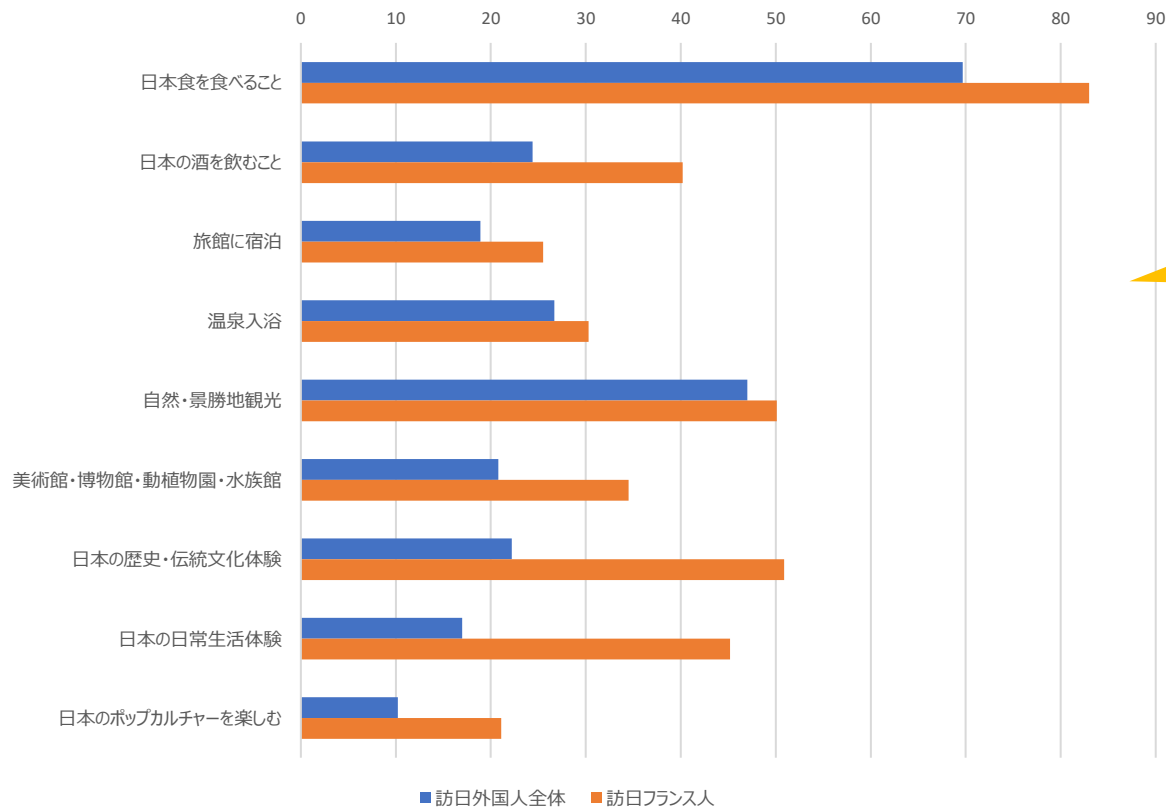
3位：果汁（492百万円）

5位：緑茶（371百万円）

7位：清涼飲料水（359百万円）

9位：スープ プロス（308百万円）

【訪日フランス人が訪日旅行前に期待すること】



食や日本の伝統文化、ポップカルチャー、美術館等のアート等に訪日フランス人は特に関心が高いといえます。

日本政府観光局 (JNTO)
JNTO訪日旅行データハンドブック 2023年より作成

【フランス市場の特徴まとめ】

- ✓ 訪日状況がかなり回復している
- ✓ 他の国に比べて比較的滞在日数が長く、地方へ訪問する機会が多い
- ✓ 伝統文化・アート・食への興味関心が高いため、ジャパンウィークとの親和性が非常に高い

ジャパンウィークにて、自治体様により各地域の魅力をPRいただくことで観光・物産等のPRで地域経済の活性化に非常に効果的である市場と言えます！

【フランス・コルマルについて】



コルマル (Colmar)

コルマルは、ドイツ国境に近いフランス北東部のグランテスト地域圏（アルザス、シャンパーニュ・アルデンヌ、ロレーヌの3地方を統合）にある町です。かつてはドイツ領やフランス領になるなど、複雑な歴史によりドイツ風の街並が広がっています。プチット・ヴニーズ「小さなヴェネチア」という名で親しまれているこの街の旧市街は、運河沿いに中世ルネサンス初期に建てられたハーフティンバー様式（木造建築）のカラフルな民家が建ち並んでいます。クリスマス・マーケットの時期には、愛らしい装飾と幻想的な装飾に彩られ絵本の世界に迷い込んだかのようなメルヘンチックな雰囲気漂います。この美しい街並みは、映画の舞台のモデルになったと言われています。



コルマルの見どころ

●プチット・ヴニーズ



「小さなヴェネチア」という名で親しまれているこの街の旧市街は、運河沿いにカラフルで可愛い木組みの民家が建ち並んでいます。石畳の通りの家々の窓辺には花が飾られ、かわいらしい雰囲気、イタリアのヴェネスを彷彿とさせることから、プチット・ヴニーズと名付けられました。

●ウンターリンデン美術館



13世紀のドミニコ会修道院を改造した建物で2015年に改修工事完了後、アルザスで最も訪問者の多い美術館です。中世末からルネサンス期までの彫刻や絵画が所蔵され、特に有名な作品はドイツ人画家グリュネヴァルトの傑作「イゼンハイムの祭壇画」です。

●プフィスタの家



三角屋根と出窓が特徴的な「プフィスタの家」。映画のモデルとなったとされている建物なんです。「プフィスタの家」はコルマルの街のほぼ中心にあり、16世紀に建てられた歴史ある建物です。

アルザス地方の見どころ

●ストラスブール大聖堂



世界遺産に登録されているこのカトリックの大聖堂は、約400年の歳月をかけ、1439年に完成されました。中世の建築物の中でも最高傑作の一つと言われ、幅が112m、塔の高さは142mで現在、教会としては世界第6位の高さです。「石のレース編み」と例えられる見事な彫刻が見所です。

●プチットフランス



プチットフランスは、ストラスブールの旧市街南西端にある「小さなフランス」とよばれる一角。水辺にアルザス特有の木骨造の伝統的な建物が立ちロマンチックな風景が見られる場所で、町を囲むイル川を走る遊覧船から眺めることもできます。

●リクヴィール



フランスの最も美しい村に登録されているリクヴィールは、城壁に囲まれ、村の目抜き通りを端から端まで歩いても20分程度という小さな村です。別名「ぶどう畑の真珠」と呼ばれ、アルザスワインの名産地としても有名です。

【開催会場のご案内】

●観光物産商談（11/12）

会場：パリで開催予定

各地方自治体より、その地域の観光地や郷土の物産などを紹介する商談会を実施します。各地域の魅力を通じて日本の美しさや伝統文化をフランスの人々にアピールします。

●オープニングフェスティバル（11/13）

会場：〈THEATRE MUNICIPAL（予定）〉



ジャパンウィークの幕開けとなるイベントとして、日本・フランス双方の参加者によるプログラムを開催。このオープニングフェスティバルから日本・フランス双方の「交流」が始まります。

●ウェルカムレセプション（11/13）

会場：未定

コルマル市主催によるジャパンウィーク参加者の関係の意を込めたセレモニー。日本とフランス両国実行委員会の代表によるレセプションを実施。

●展示・実演・ワークショップ・茶道（11/12-11/17）

会場：〈CATHERINETTE（予定）／Koifhus（予定）〉

アンマーシュヴィア出身のドミニコ会修道女たちは、1310年にコルマルに修道院を設立しました。建物は15世紀から18世紀にかけて改造および再建されます。現在、この建物には学校、パーティー会場、観光局の管理本部が入っています。

CATHERINETTE（予定）



アンマーシュヴィア出身のドミニコ会修道女たちは、1310年にコルマルに修道院を設立しました。建物は15世紀から18世紀にかけて改造および再建されます。現在、この建物には学校、パーティー会場、観光局の管理本部が入っています。

Koifhus（予定）



旧税関は1480年に建てられたゴシック様式とルネッサンス様式の美しい建物です。現在はレストランのほか、一時的な展示会や見本市が開催されています。

Business Session

商談会 (11/12パリ)

ジャパンウィーク開催に合わせ、フランスの首都パリにて自治体とフランス自治体・企業による商談会を実施します、終了後はコルマールのジャパンウィークにご参加頂きます。

【日時】

商談会 : 2023年11月12日 (火) 午前～午後

懇親会 : 2023年11月12日 (火) 夕方

【場所】

商談会 : パリ市内 会議場

懇親会 : パリ市内 ホテル (予定)

【商談テーマ】

- ・観光 : (例) 各自治体の魅力をPR頂き訪日団体旅行の誘客提案
- ・特産物 : (例) 現地輸入業者に特産物を輸出してフランス全土で展開する企画提案

【協力】

- ・外務省・在ストラスブル総領事館・国土交通省・文部科学省・農林水産省
- ・JETROパリ事務所・JNTO・独立行政法人国際交流基金
- ・全国知事会・全国市長会・全国町村会・全国都道府県議会議長会
- ・全国市議会議長会・全国町村議会議長会

※上記全て予定

Business Sessionタイムスケジュール (予定)

時間	内容
10:00～10:30	商談①
10:30～10:50	休憩
10:50～12:10	商談②・③
12:10～14:00	昼食
14:00～14:30	商談④
14:30～14:50	休憩
14:50～16:00	商談⑤・⑥
17:00～19:00	懇親会

※1自治体様あたり6セッションを予定しております。

※通訳は1自治体様あたり1名をお付けいたします。(商談会専門通訳ではなくフランス語の通訳となります)

※商談会終了後は翌日13日にコルマールに移動して頂きジャパンウィークにご参加頂きます。

フランス側参加業者 (予定)

観光
<ul style="list-style-type: none"> ●自治体 ●旅行会社 ●ホテル ●一般団体 ●大学

特産物
<ul style="list-style-type: none"> ●輸入業者 ●商社 ●レストラン ●スーパー・土産店 ●日本食関連企業

●商談会までのスケジュール

2024年										
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
		日本側参加団体の募集				現地マッチング相手の募集期間		・通訳決定9月 ・マッチング決定10月		・商談会11/12 パリ ・ジャパンウィーク11/12-11/17 コルマール

Exhibition

展示 (コルマール)

- パンフレットや特産品等を配布して、自治体や企業のプロモーションを行うことができます。試飲・試食も可能です。
- 各ブースにボランティアを配置し、プロモーションをサポートします。
- 街頭広告との組み合わせで相乗効果を生み出します。
- 荷物は当財団が船便で会場まで輸送・返送します。(注)

注：国内指定倉庫までの発送・国内指定倉庫からの返送については、参加団体様に費用をご負担いただけます。



写真：2023年 富士宮市様



写真：2023年 北海道観光振興機構様



写真：2019年 三郷市様



写真：2019年 埼玉県物産観光協会様

Advertisement

街頭広告 (コルマール)

【期間】

ジャパンウィーク開催に合わせて、最大2週間、市内中心地に自治体の認知度・好感度向上のための街頭広告を出すことができます。

(ジャパンウィーク開催中・前後というコルマール市民日本に一番興味を持っている時期にプロモーションを行うことが可能です。)

【サイズ】

未定×1枚

【場所】

コルマール市内35か所程度となります。



自治体プラン ご参加費用

■ パリ商談会、コルマール展示、街頭広告

参加費用に含まれるもの

- 商談会参加費用（1デスク）
- 商談会時通訳1名
- 商談会后懇親会（2名様分）
- 展示ブース×1
- 最大2週間の街頭広告×1枚

1自治体様
55万円

【参加費用に含まれないもの】

● **参加人数分のジャパンウィーク参加登録料（1名様につき40,000円）**

※参加登録料はジャパンウィークの運営費用に充てさせていただきます。主な内容は以下の通りです。

・東京湾地区指定搬入先からコルマール会場までの往復船便貨物輸送費・会場施設にかかわる経費・ボランティア通訳やスタッフ等の人件費

- 商談会会場への荷物輸送・返送費用
- 商談会後の懇親会に3名様以上で参加する場合、1名様あたり1万円の追加費用
- 街頭広告のデザイン料
※データにてご入稿をお願いいたします。
- 開催都市までの航空券代、滞在費など渡航に関わる費用

商談会ポイント（パリ）

① ジャパンウィークに合わせて実施

パリで商談会にご参加いただいた後に、コルマールでジャパンウィークの展示・実演にご参加いただくことで、現地自治体・企業と市民の両方に自治体・特産品の魅力をアピールしていただくことができます。

② 商談相手を募集・選定

観光・特産物の2つのテーマに合わせた商談相手を事務局が募集・選定します。観光でご参加の場合、現地自治体・旅行会社等から選定、特産物でご参加の場合、現地輸入業者・商社・レストラン・スーパー・日本食関連企業等から募集・選定します。

③ 商談相手に事前に資料送付

事務局から商談相手に自治体の資料を事前に渡します。それにより、商談相手はアピール対象の知識を持った状態で商談に臨むことになり、より具体的な商談をすることが可能です。

④ 日本に興味のある自治体・企業のみ

日本とフランス二国間の商談会のため、現地参加企業は日本との取引に興味がある、または日本との取引を既に行っている企業のみ募集します。

⑤ 各商談に通訳を配置

各商談に通訳を配置するため、言語の心配が不要になります。通訳は主にパリ在住の日本人を手配します。

⑥ 懇親会を開催

商談会終了後に懇親会を予定しています。在フランス日本大使館各機関や他自治体と情報共有していただくことが可能です。

展示・街頭広告ポイント（コルマール）

① 潜在顧客層へアプローチ

ジャパンウィークには、日本に興味を持った多くのスペイン国民が見物に訪れます。潜在顧客層である彼らに直接アプローチしていただくことで、不特定多数に向けたプロモーションに比べて大きな効果が期待できます。

② オンライン会議システム

オンライン会議システムを使用することにより、リアルタイムで来場者とコミュニケーションを取っていただくことが可能です。来場者にその場で質問してもらい回答する、展示物・配布物の感想を述べてもらう等の使い方が想定できます。

③ 特産品の展示・配布

パンフレット配布だけでなく、地域の特産品等を展示・配布していただけます。また、試飲・試食を行っていただくことが可能です。前回のジャパンウィークでは、日本酒の試飲・おにぎりの試食が行われ、好評でした。

④ 街頭広告との相乗効果

ジャパンウィークが開催される11月のうち最大2週間、コルマール市内中心地に街頭広告を出すことにより、認知度・好感度向上が狙います。更に、街頭広告で認知されている状態でブースに訪問していただく、ブース訪問後に街頭広告を見るといった相乗効果を見込みます。

⑤ ボランティア通訳常駐

各ブースに一名ボランティア通訳を配置します。彼らが来場者の対応を行うことにより、言語の壁を取り除き、来場者の満足度を高めます。フィードバックの集計についても、可能な限り対応しますので、当協会までご相談ください。

⑥ 自治体商談会に合わせて参加

パリで商談会にご参加いただいた後に、コルマールでジャパンウィークの展示・実演にご参加いただくことで、現地自治体・企業と市民の両方に自治体の魅力をアピールしていただくことができます。

【過去の展示実例1】

2023年 スペイン・セビリア
富士宮市様

世界遺産富士山の登山口があるまちとして毎年多くの訪日観光客を迎えている。セビリア ジャパン・ウィークにおいては、魅力的な4種の地酒をの試飲や福引抽選会、名産静岡茶の試飲や観光動画の上映とパンフレット配布など、様々なコンテンツで盛り上げていただき、展示会場の中核的な出展となった。

2023年 スペイン・セビリア
西湖観光協会様

山梨県富士河口湖町から、観光プロモーションで初めてご参加頂いた。同町は世界遺産富士山及び周辺観光の拠点として名高いが、他に西湖の畔に、訪日外国人に人気の観光施設「西湖いやしの里根場」を持つ。

今回の出展では、その施設でも人気のコンテンツの「簡易着物着付け体験」や抹茶体験で町の魅力をアピールし、来場者に対して、インスタグラム拡散を条件に「和風鶴のイヤリング」を多数プレゼント等、豪華な出展メニューでセビリアの女性を中心に、連日大盛況であった。

2019年 ギリシャ・アテネ
三郷市様

東京オリンピックでギリシャチームのキャンプ地を予定している縁もあり、シティーセールス及び交流を目的として、市長を先頭にご参加頂いた。地酒テイastingや抽選等が大変盛況で、計900名以上が訪れた。又多目的ホールでは和太鼓と篠笛のパフォーマンスを行い、日本文化紹介を合わせて行った。

2019年 ギリシャ・アテネ
埼玉県物産協会様

埼玉県の観光と物産の紹介を目的にご参加頂いた。2日間の出展であったが計600名以上の参加者がブースを訪問した。特産の柚子醤油・日本酒・ウイスキーの試飲を中心に運営し好評であった。埼玉の観光パンフレットが人気があり観光プロモーション的にも大きな可能性を感じた。



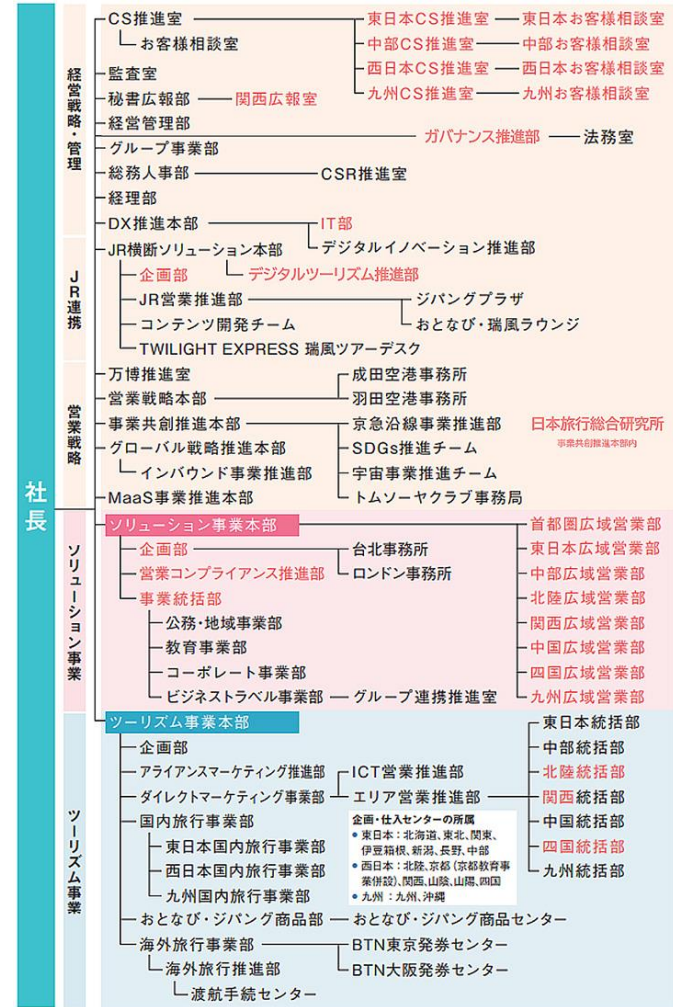
【過去の展示実例2】

年	開催都市	参加自治体	NOTE
2003	イスタンブール市	下関市様	・姉妹友好都市関係 ・市民訪問団 ・市のブース出展
2004	リスボン市	熱海市様	・カスカイス市と姉妹都市 ・文化団体（コーラス）+ 子供の絵画展
2005	ナポリ市	遠野市様、鹿児島市様	・自治体ブース出展
2008	ストラスブルグ市	日本政府観光局様（J N T O）	・自治体ブース出展
		（財）自治体国際化協会様	・自治体ブース出展
2010	ポルト市	長崎市様	・姉妹都市 ・自治体ブース出展 ・高校（吹奏学部）
		天草市・天草観光協会様	・舞台公演（ハイヤ踊り）
		種子島市様	・火縄銃披露
2011	フランクフルト市	（財）自治体国際化協会様	・自治体ブース出展
		横浜市様	・自治体ブース出展（自治体国際化協会ブース内）
		福岡県様	・自治体ブース出展（自治体国際化協会ブース内）
		真庭市様	・自治体ブース出展
2012	バレンシア市	日本政府観光局様（J N T O）	・自治体ブース出展
		三重県様	・自治体ブース出展 ・姉妹都市（バレンシア州）
2014	ベルン市	日本政府観光局様（J N T O）	・自治体ブース出展
		奈良県様	・自治体ブース出展（書道・日本酒・干菓子） ・姉妹都市（ベルン州）
2015	ヘルシンキ市	仙台市様	・自治体ブース出展（キノコ・工芸等） ・フィンランドとの連携10年以上
		日本政府観光局様（J N T O）	・自治体ブース出展
2017	プラハ市	長岡市様	・錦鯉をテーマにした市のプロモーション
2018	トリノ市	名古屋市様	・トリノの姉妹都市である名古屋市のプロモーション
		瀬戸内市様	・日本刀の一大産地であった備前長船の紹介
2019	アテネ市	三郷市様	・東京五輪ギリシャ代表のホストタウンである三郷市のPR
		（社）埼玉県物産観光協会様	・埼玉県の物産品のプロモーション
2023	セピリア市（商談会：マドリード市）	富士宮市様	・展示および商談会にて富士宮市の観光や日本酒をPR
		西湖観光協会様	・展示および商談会にて西湖の観光PR

株式会社日本旅行

正式社名	株式会社 日本旅行
本社	東京都中央区日本橋1-19-1
創業	1905(明治38)年11月
設立	1949(昭和24年)1月、株式会社として再発足
資本金	1億円
主な株主	西日本旅客鉄道(株) (株)三菱UFJ銀行 日本旅行従業員持株会 (株)みずほ銀行 南 啓次郎 東日本旅客鉄道(株) (株)三井住友銀行 ケイ・エス・オー(株) 東海旅客鉄道(株) 日本旅行協定旅館ホテル連盟 その他
代表者	代表取締役社長 小谷野 悦光
社員数	3,442名(グループ全体)(2024年1月1日現在)
総取扱高	3,574億円(2023年度単体)
事業内容	<p>旅行業法にもとづく旅行業(国内・海外旅行業務)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各種乗車船券・入場券等の受託販売 ●国際・国内会議の開催及び各種催事の企画、立案並びに運営請負 ●観光地の開発に関する企画、立案並びにコンサルタント業務 ●ホテル、食堂、観光施設等の経営 ●広告事業及び図書・雑誌などの刊行 ●旅行関連物品並びに酒類煙草等の販売及び貸電話業 ●国内並びに国際航空船舶運送代理業 ●自動車運送取扱事業 ●損害保険代理業並びに自動車損害賠償保障法にもとづく保険代理業 ●その他上記に関連する事業
関連会社	日本旅行北海道、日本旅行東北、日本旅行沖縄、日本旅行リテイリング、ジャッツ、ジャッツ関西、FIT、日旅産業、日旅物流、日本旅行・グローバルビジネストラベル、日旅ビジネスクリエイト、ブランドウ・ジャパン、日旅ビジネスソリューションズ、日本旅行グローバルソリューションズ、日旅九州エンタプライズ、日本アカウントサービス、エルオルト、エムハート ツーリスト、西日本新聞旅行、北海道オブショナルツアーズ、あぐりツーリズムネットなど

組織図



※赤字は新設、または名称変更箇所

2023年7月1日現在